



宝の山・磐梯山の

魅力と災害からの復興

～磐梯山ジオパークによる地域資源の保全と活用～



[磐梯山崩壊壁と銅沼]

ジオパークとは、地球科学的意義のあるサイトや景観が保護、教育、持続可能な開発のすべてを含んだ総合的な考え方によって管理された、1つにまとまったエリアです。

磐梯山ジオパークは、磐梯火山を中心とする猪苗代町・磐梯町・北塩原村エリアです。



国史跡「慧日寺跡」



見衿の大石（国天然記念物）



磐梯山と青沼（五色沼湖沼群）



赤枝彼岸獅子



猪苗代湖と白鳥

日時 令和6年1月20日（土）13時30分～15時30分

会場 南相馬市立中央図書館「大会議室（2階）」

講師 竹谷陽二郎氏 元福島県立博物館学芸員（理学博士）

内容 およそ40万年前に誕生した磐梯山。1888年の噴火は明治以降の日本で最大の火山災害をもたらしましたが、今は美しく多様な自然を楽しめる地域に再生しています。磐梯山ジオパークは、磐梯山が造り出した自然や景観、磐梯山のもとで育まれた文化、それらを活かした地域作りに取り組んでいます。

対象 中学生以上

定員 50名（申込不要）参加無料

共催 南相馬市教育委員会

主催 磐梯山ジオパーク協議会

現在日本には、日本ジオパーク委員会が認定した「日本ジオパーク」が46地域あります（2023年5月現在）。その内、10地域がユネスコ世界ジオパークにも認定されています。

ユネスコが認定するユネスコ世界ジオパークは、48か国に195地域あります。



磐梯山ジオパーク
ホームページ



磐梯山ジオパーク
Instagram